

登録区分	入院・外来
------	-------

プロトコール名

多発性骨髄腫－Elranatamab (day15以降)

1. 適応疾患：再発/難治性の多発性骨髄腫

(免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤および抗 CD38 モノクローナル抗体製剤を含む、少なくとも3つの標準的な治療が無効または治療後に再発した症例)

2. 投与量と投与スケジュール

薬剤名	投与スケジュール			
	1	...	7	1
Elranatamab (エルレフィオ) 76 mg/b 皮下注	●			●

〈投与方法〉 1, 4, 8 日目の後に weekly に 76mg を投与する。

奏功が認められた患者においては、25 週目以降、2 週間間隔とする。

投与延期後、一定期間以上開いた場合は投与再開時の用法用量を再確認すること

⇒下部の添付資料参照

〈評価方法〉 採血、尿検査

〈併用レジメン〉 なし

〈上限クール〉 なし

5. 指示

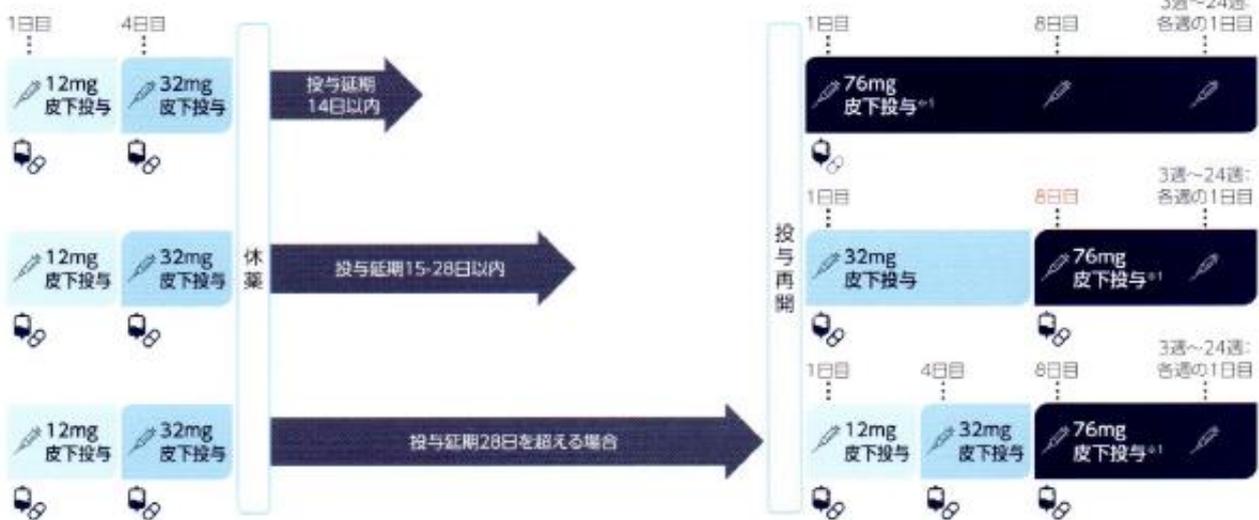
投与順	薬剤名と投与量	投与方法	ペース
①	エルレフィオ 76mg	皮下注射 (腹部)	

【エルレフィオの休薬後の再開方法について】

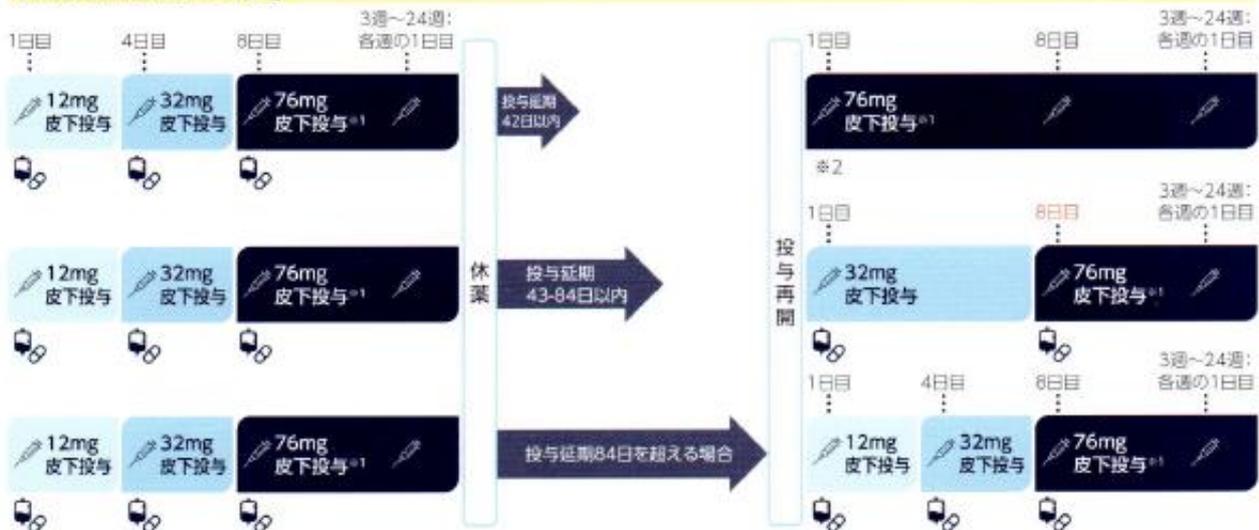
休薬直前の用量：12mg



休薬直前の用量：32mg



休薬直前の用量：76mg



前投与
本剤投与開始の約1時間前に、以下の薬剤を投与すること：
・解熱鎮痛剤 ・副腎皮質ホルモン剤 ・抗ヒスタミン剤

※1 24週間以上投与し、奏効が認められている場合は、投与間隔を2週間間隔とすること
※2 前投与は必須ではない

CRS 発現時のトシリズマブ(アクテムラ®)投与量について

トシリズマブ 8mg/kg を 1 時間かけて点滴静注(1 回 800mg を超えないこと)。

(体重 30kg 未満は 12mg/kg)

8 時間以上経過後に再投与(24 時間以内に最大 2 回)可能

※以下、適正使用ガイドより

- Grade1 では、高齢、高腫瘍量、循環腫瘍細胞、解熱剤で回復しない発熱などの特定の状況である場合、トシリズマブを投与。8 時間以上経過後の再投与は症状に応じて考慮。
- Grade2 以上ではトシリズマブを投与後、8 時間以上あけて再投与する。

トシリズマブオーダー時の投与量・バイアル換算表

体重(kg)	トシリズマブ投与量(mg/回)	オーダー時のバイアル数
30	240	80mg × 3V
~35	241-280	80mg × 1V 200mg × 1V
~40	281-320	80mg × 4V
~45	321-360	80mg × 2V 200mg × 1V
~50	361-400	400mg × 1V
~55	401-440	80mg × 3V 200mg × 1V
~60	441-480	80mg × 1V 400mg × 1V
~65	481-520	80mg × 4V 200mg × 1V
~70	521-560	80mg × 2V 400mg × 1V
~75	561-600	200mg × 1V 400mg × 1V
~80	601-640	80mg × 3V 400mg × 1V
~85	641-680	80mg × 1V 200mg × 1V 400mg × 1V
~90	681-720	80mg × 4V 400mg × 1V
~95	721-760	80mg × 2V 200mg × 1V 400mg × 1V
~100	761-800	400mg × 2V